



平成 31 年 4 月 24 日

コープみえとの包括連携協定を締結しました

生活協同組合コープみえと三重県社会福祉協議会は、相互の連携により、地域福祉の発展と人材育成に寄与することを目的に、包括連携協定を締結しました。

コープみえと社会福祉協議会は、どちらも「誰もが暮らしやすい地域をつくる」ことを目的とした組織であり、地域に密着した活動に取り組んできました。この協定を契機として、今後も地域にとって実りある活動につなげていきます。



(左から順に) 生活協同組合コープみえ 専務理事 鈴木 稔彦 氏
副理事長 大野 智香子 氏
理事長 西川 幸城 氏
三重県社会福祉協議会 会長 井村 正勝
常務理事兼事務局長 松本 利治

コープみえと三重県社協との包括連携協定について

背景・経緯

- 近年、少子高齢化の進行、社会保障の縮小、地域格差や貧困問題など、地域社会における生活への不安や厳しい状況が顕在化してきています。
- 誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が共に支え合う「地域共生社会」の実現に向けて、多様な主体が協働していくことが求められています。
- そのような中で、コープみえと三重県社会福祉協議会では、NPO法人Mブリッジの協力を得て、平成27年2月から、2か月に1回程度の意見交換を継続してきました。
- また、平成29年度には「生協×社協」という場を設け、コープみえ地域センターと県内市町社協を交えた意見交換を行い、連携の可能性を探ってきました。

コープみえ

- ◆福祉政策を推進
コープみえでは、すべての事業・活動に福祉の視点を持って取り組むこととしており、地域や諸団体との連携を強化し、福祉政策を推進しています。
- ◆生活協同組合としての特徴
県内の全世帯のうち約1/4がコープみえの組合員で、県内最大の消費者団体です。生協ならではのインフラを持ち、特色ある事業・活動に取り組んでいます。また、各地域では組合員を中心に様々な活動に取り組んでいます。

社協

- ◆地域福祉を推進する組織
社会福祉協議会は、地域福祉を推進する組織として、従来から住民主体の地域福祉活動に取り組んできました。それに加えて、近年では、地域住民が抱える複雑・多様化した福祉課題に専門的な支援にも取り組んでいます。
- ◆全ての市町にあるネットワーク
県内の全市町に存在し、その地域に応じた事業を展開しています。また連絡調整等を行う組織として県社協があり、協働による取り組みも実施しています。

連携協定

相互の機能向上・人材育成を図り、地域福祉をより一層推進する

連携・協力事項 1

身近な地域において住民が取り組む福祉課題解決のための活動に関すること

<想定される取組事例>

- ふれあい・いきいきサロンや子ども食堂での協働
- 移動や買い物に課題を抱える方の支援

連携・協力事項 2

困りごとを抱えた住民に対する相談支援に関すること

<想定される取組事例>

- 緊急的な支援を必要とする方への食料品等の提供
- 合同相談会の開催
- 配慮を必要とする方の見守り活動での協働

連携・協力事項 3

災害時の復旧・復興支援および被災者の生活支援に関すること

<想定される取組事例>

- 災害ボランティアセンター運営での協働
- 避難所運営や支援物資の整理・配送等での協働

連携・協力事項 4

その他、目的を達成するために必要と認められる事項

定期的な意見交換の場を設け、各地域での事例等の情報を共有